

○ 漢文訓読（漢文を読む方法）を学ぼう

●【レ点と一二点が組み合わさる場合】

(例一) 冀<sup>ねがひ</sup>ニ<sup>レ</sup>復<sup>また</sup>得<sup>ソコトヲ</sup>免<sup>ヲ</sup>。④ ① ③ ②

例一の場合

「二点がついているので、「冀」の字を読まず、下の「復」の字を読む。(①)  
「得」の字は一レ点がついている。一レ点は、まずレ点の読みを先に行う。そのため、「得」を読まず、下の字の「免」を読む。(②)  
すぐ上に返って一点がついている「得」の字を読む。(③)  
一点の次は二点の字を読むので、二点がついている「冀」を読む。(④)  
つなげると「復た免を得んことを冀ふ。」と読める。

(例二) 無<sup>カレ</sup>為<sup>ルコト</sup>ニ<sup>レ</sup>牛<sup>ニ</sup>後<sup>ト</sup>。④ ③ ① ②

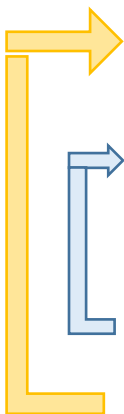
例二の場合

「レ点がついているので「無」という字は読まない。  
下の「為」という字を読みたいが、「為」には二点がついているので、まず一点の字を読まなければ読めない。  
したがって、最初に読むのはその下の「牛」の字となる。(①)  
その下の一点がついている「後」の字を読む。(②)  
一点の次には二点の字を読むので、「為」の字を読む。(③)  
レ点があるので、上に返って「無」の字を読む。(④)  
つなげると、「牛後と為ること無かれ。」と読める。

【次のページに続きます】

●【上(中)下点】…一二点をはさんで、上点から下点に返る。

(例二) ⑥ ① ③ ④ ② ⑤  
楽<sub>シム</sub>下<sub>ノ</sub>其<sub>ノ</sub> 所<sub>コ</sub>以<sub>ン</sub>亡<sub>一</sub>者<sub>上</sub>



【例一の場合】

- ㄱ 「樂」の字は下点がついていて読めないで、次の「其」の字を最初に読む。(①)
- ㄴ 「所」の字には二点がついているので読めない。また次の「以」との間にハイフンがあるので、「所以」と続けて読むので、「以」の字も読まない。
- ㄷ 「亡」の字には一点がついているので、読む。(②)
- ㄹ 一点の次は二点を読むので、「所」の字を読む。(③) ハイフンがついているので、すぐ下の「以」の字を読む。(④)
- ㄺ 一番下の上点がついた「者」の字を読む。(⑤)
- ㄻ 上点の次は下点を読むので、「樂」の字を読む。(⑥)
- ㄼ つなげると「其の亡ぶる所以の者を楽しむ。」となる。

※他にも上下点をはさんで返る「甲乙点」等もありますが、動き方は一二点や上下点と同じです。

【次のページに続きます】

【練習問題】 次の四角 (□) 内の読む順番を答えましょう。

(1) □  
 ✓ □  
 = □  
 □ □ □ □ □ □ □ □

(2) □  
 = □  
 □ □ □ □ □ □ □ □

(3) □  
 ▽ □  
 ✓ □  
 = □  
 □ □ □ □ □ □ □ □

(4) □  
 ▽ □  
 □ □ □ □ □ □ □ □

(5) □  
 ▽ □  
 = □  
 □ □ □ □ □ □ □ □

【答え】

